

2013 年度 言語教育学(演習)
自然会話分析法 I I : 木曜日 4 限 (407)

担当教員：宇佐美まゆみ

E-mail : usamiken.tufs@gmail.com

研究室：740 室

授業の目標

- ・「自然会話分析法 I」で学んだ内外の研究動向や方法論に基づいて、学生が各自、卒業論文
- ・卒業研究の予備研究を行い、その結果をまとめることを目標とする。
- ・自然会話分析がいかに関言語教育学に貢献できるかについて考察し、理解を深める。

授業の概要

各自の卒業論文・卒業研究の予備研究の発表、全体での討議を中心に、自然会話分析に必要な文字化、集計作業等についての実習も行う。

授業の計画

・「自然会話分析法 I」で学んだ会話分析の基本的な方法論に基づいて、さらに、研究テーマの設定法、データ収集法（実験・調査計画法）、データ分析法等を概観・吟味しながら、各自の興味と問題意識に基づいた卒業論文・卒業研究の予備研究プロジェクトを進めていく。

・上記作業と並行して、自然会話の収集、文字化、文字化資料のデータベース化、処理の実習なども適宜行う。

- 1 導入
- 2 各自の研究の中間報告 1
- 3 各自の研究の中間報告 2
- 4 各自の研究の中間報告 3
- 5 各自の研究の中間報告 4
- 6 各自の研究の中間報告 5
- 7 各自の研究の中間報告 6
- 8 各自の研究の中間報告 7
- 9 各自の研究の中間報告 8
- 10 各自の研究の中間報告 9
- 11 各自の研究の中間報告 10
- 12 各自の研究の中間報告 11

1 3 各自の研究の中間報告 1 2

1 4 各自の研究の発表会 1

1 5 各自の研究の発表会 2

成績の評価

普段の授業への貢献度（積極的発言等）、中間報告、小課題、期末レポートなどによって、総合的に評価する。